

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【原山中学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が十分な生徒と不十分な生徒で二極化している傾向にある。 <指導上の課題> 生徒一人ひとりの知識・技能の習得状況に応じた個別最適な学びの場を設定した授業づくりをする必要がある。	⇒ 思考・判断・表現等の学習の過程を通して習得した知識・技能を、他の学習や生活の場面でも活用できるような学びの場を設定する。【適宜】 生徒自身が最適な学習方法を決定できるように、協同学習やワーク、スタディサプリなど、生徒が選択できる学習形態を増やす。【適宜】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 学習課題を解決するために、新たに身に付けた知識・技能や既習事項を活用し、粘り強く試行錯誤することに課題がみられる。 <指導上の課題> 教科横断的な視点も加え、生徒が思考・判断・表現する場を効果的に設定した授業づくりに注力する必要がある。	⇒ 各教科等の授業において、生徒が自分自身の考えをまとめ、発表したりする場面や、級友と意見を交わしながら学習を進める必要のあるような学習活動を設定する。【適宜】 生徒自身が学習のゴールを意識して学習計画を立てたり、学習方法を決めたりする場面などの個別最適な学びの場を設定し、必要感をもって取り組むことができるような授業づくりを行う。【適宜】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告	
思考・判断・表現	結果提供(7月)	

調査結果分析(7～8月)
 ①結果分析(管理職・学年主任等)
 ②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)